

【主担当部局：戦略企画部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

県内の高等教育機関における教育や研究等の充実により、一層魅力が高まるとともに、学びの選択肢の拡大により、三重県で学び、働き、住み活躍する若者が増えています。

また、県内高等教育機関と産業界等地域との連携が進み、共同研究や地域の課題解決に向けた取組が活発化し、若者から選ばれるしごとの創出や働く場の魅力向上が実現しています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県内高等教育機関入学者の県内からの入学者の割合（県内入学率）		60.0%		61.0%		63.0%
	55.5%					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	県内高等教育機関に入学した者のうち、県内からの入学者の割合（県内入学率）					
3年度目標値の考え方	平成30年度実績値（平成31年4月入学）の58.1%から、毎年1%ずつ増加させることをめざし、令和3年度の目標値（令和4年4月入学）を61.0%としました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県内高等教育機関卒業生の県内就職者の割合（県内就職率）		51.0%		52.0%		54.0%
	48.2%					
県内高等教育機関と取り組む産学官連携の件数（累計）		40件		85件		190件
	—					

現状と課題

- ① 平成 28 年に県内の高等教育機関と県で構成する「高等教育コンソーシアムみえ」を創設し、高等教育機関の魅力向上につながる取組を進めているものの、県内高等学校から県内高等教育機関への進学者数は増加しておらず、県内高等教育機関のより一層の魅力向上およびその魅力を学生等に伝えていくことが求められています。
- ② 令和元年度の本県の大学収容力指数^{注) 1}は、48.2 と他府県と比べて低く、県内の高等学校を卒業した大学進学者が県内大学へ入学した割合も約 2 割に留まっており、大学収容力の向上や学びの選択肢の拡大が求められています。
- ③ 県内高等教育機関の卒業生が県内企業に就職した割合は 5 割に満たないことから、就職時の若者の県内定着が課題となっています。
- ④ 大学生等の奨学金返還額の一部を助成する制度については、これまでの過疎地域などの指定地域への居住等を条件とする「指定地域枠」に加え、新たに県内での居住及び県内産業への就業等を条件とする「業種指定枠」を設け、募集人数を 40 名に倍増し、募集を開始しています。若者の県内定着が進むよう、制度を適切に運用していくことが必要です。
- ⑤ 平成 30 年に県内の産業界、高等教育機関、県および市町で構成する「みえ地方創生多分野産学官連携推進協議会」を創設し、産学官による連携に取り組んでいます。地域での若者の活躍につなげるためには、共同研究などの推進による若者から選ばれるしごとの創出や働く場の魅力向上が必要です。

注) 1 大学収容力指数：県内外からの県内大学への入学者数／前年度に県内高等学校を卒業した者のうち国内大学への入学者数×100。

令和 3 年度 of 取組方向

- ① 三重で学び、働き、住み活躍する若者を増やすため、「高等教育コンソーシアムみえ」における県内高等教育機関相互の連携取組や県内高等教育機関と県外大学との連携による研究・人材育成の促進などを通じて、選ばれる高等教育機関としての一層の魅力向上を図ります。
- ② 若者が県内で学び、成長できる可能性を広げられるよう、大学進学時における学びの選択肢の拡大に向けて、県立大学設置の是非について検討します。
- ③ 県内入学者や県内就職者の増加につなげるため、県内高等教育機関が、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う環境変化をふまえて講じる、学びの充実を図るための取組を重点的に支援します。
- ④ 大学生等の奨学金返還額の一部を助成する制度について、より多くの若者が県内で暮らし、働くきっかけとなるよう、関係機関と連携して周知を図るとともに、適切かつ効果的に運用をしていきます。
- ⑤ 若者から選ばれるしごとの創出や働く場の魅力向上につながるよう、県内高等教育機関相互や産学官のネットワークを活用して、分野の枠を越えて連携した取組を推進します。

主な事業

① (一部新) 高等教育機関連携推進事業【基本事業名：22601 県内高等教育機関の魅力向上・充実】

【基本事業名：22602 県内高等教育機関と取り組む産学官連携の推進】

予算額：(R2) 838千円 → (R3) 37,832千円

事業概要：三重で学び、働き、住み活躍する若者を増やすため、「高等教育コンソーシアムみえ」において、地域課題に対して深く関心を持ち、主体的に活躍する人材「三重創生ファンタジスタ」の養成などの取組を進め、県内高等教育機関の一層の魅力向上を図ります。若者が県内で学び、成長できる可能性を広げられるよう、大学進学時における学びの選択肢の拡大に向けて、県内高校生等の高等教育におけるニーズを調査するとともに、県立大学設置の是非について検討します。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う環境変化をふまえた、県内入学者や県内就職者の増加につなげる県内高等教育機関の取組に対し、財政的に支援します。

② 地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業

【基本事業名：22601 県内高等教育機関の魅力向上・充実】

予算額：(R2) 28,751千円 → (R3) 23,652千円

事業概要：若者の県内への定着を促進するため、「過疎地域など指定地域への居住」や「県内での居住及び県内産業への就業」を予定している学生を対象に、奨学金返還額の一部を助成します。